

熊本学園大学 商学部 ホスピタリティー・マネジメント学科
(3年情報会計科生徒)

私は、熊本学園大学商学部ホスピタリティー・マネジメント学科に合格しました。私が、この大学を選んだ理由は観光産業やおもてなしを深く学び将来は旅行関係の仕事に就きたいと思ったからです。私が、進路について考え始めたのは、ちょうど1年前、今の皆さんと同じように3年生の進路体験を聞いた時からでした。それまでは、漠然と「進学しようかな～」としか考えていませんでした。その日から、改めて自分の進路と向き合ってみると考えたときに、頭に浮かんだのは大好きな旅行にかかわる仕事がしたいということでした。そして、進路を決める大きなきっかけになったのが同じ時期にあった修学旅行でした。修学旅行を通して、改めて旅の素晴らしさを実感し、旅で人を笑顔にできる人間になりたいと思いました。そして、地元、熊本で、観光などの専門分野を4年間でしっかりと学ぶことのできる熊本学園大学に進学しようと決心しました。

試験内容は課題レポートと面接でした。課題レポートは事前に与えられたテーマに沿ってレポートを書きました。文字数が多かったため、何度も先生方に添削していただき丁寧に書きました。そして、特に面接が苦手だったので昼休みや放課後を利用して多くの先生方に指導していただきました。面接練習を通して思ったことは、先生方がおっしゃるように、面接には、必ず普段の学校生活が現れてくるということです。私が面接練習で注意された点は、声のトーンと大きさ、スピードです。私は、普段から声のトーンが低く相手に伝わりづらいということがよくありました。それに気づいてからは、普段の生活や授業中での発言の声のトーンや話し方を気にかけるようにし、本番では大きな声でハキハキと話すことができました。声のトーンや話し方によって、どんなにいいことを言っても台無しになってしまいます。あいさつや、礼の仕方、声の大きさ、表情など、まずはコミュニケーションの基本となることをしっかり普段の生活で意識しながら過ごすことが大切だと、面接練習を通して感じました。1・2年生の皆さんには、今のうちから普段の生活を見直し、面接や社会に出たときに困らないようにメリハリのある学校生活を送ってほしいです。

そして、最後に皆さんに伝えたいことは、進路を実現するのは自分自身だということです。私は、3年生になってから、何度もこの言葉を耳にしました。私は、受験モードに切り替え、常にこの言葉を意識して生活しました。そのため、面接練習がうまくいかなかったときや緊張と不安でいっぱいだった試験当日も強い気持ちをもって挑むことができました。これから、進路実現に向けて進んでいく1・2年生の皆さんに、この言葉を頭の片隅に入れて行動してほしいです。自分の進む道を決めるのも受験するのも自分です。自分の将来としっかり向き合って、進路実現のために頑張ってください。